資料４

令和６年度第１回久喜市地域公共交通会議

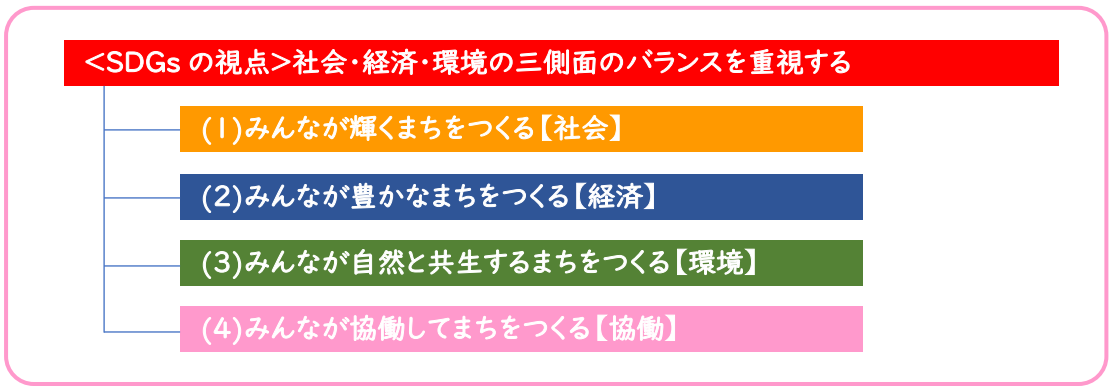
議題（２）基本方針・目標について

令和６年７月

久　喜　市

1. 計画の基本理念と基本方針

第2次久喜市総合振興計画では、SDGsの理念と協働の観点も踏まえ、行政分野に捉われず、地域の課題を統合的に解決し、持続可能なまちづくりの基本的な考え方を示しています。



久喜市の地域公共交通の基本理念は、このような考え方に沿いながら、適正かつ持続可能な公共交通ネットワークを確立するため、次のように設定します。

【公共交通の基本理念】

久しく喜び合う住みやすいまち　久喜　を支える公共交通システムの実現
第2次久喜市総合振興計画で設定された目指すまちの将来像を実現するために、次の視点で、公共交通システムを構築していきます。 ①子どもから高齢者まで、誰もがわかりやすい公共交通 ②人々の賑わいや企業の活気を支える利用しやすい公共交通 ③快適で環境にやさしい公共交通 ④住みやすいまちを支える持続的な公共交通

《公共交通の課題》

【公共交通の現状からの課題】

①社会情勢の変化や利用者のニーズに応じた公共交通の見直し

②情報提供の拡充等による公共交通の認知度及び利用率の向上

③市の負担額と収支率の改善

④公共交通の担い手である運転手不足への対応

【今後のまちづくりに対する公共交通の課題】

①駅などの公共交通の拠点地域への移動における利便性の向上

②新たに整備される公共施設へのアクセス性の確保

③各施策と連携した交流人口等の拡大

【市民意識からの公共交通の課題】

①外出時交通手段に困った人、特に送迎してもらえない人への日常的な移動交通手段の確保

②将来高齢になっても外出しやすい、安心して利用できる公共交通の確保

③「料金の見直し」や「現行の費用の範囲内でのサービス等の見直しによる運行継続」

《公共交通計画の基本方針》

基本方針1
子どもから高齢者まで、誰もがわかりやすく使いやすい公共交通への改善

基本方針2
広域アクセスやまちづくりと連携した持続可能な公共交通ネットワークの構築

基本方針3
新たな技術やサービスの活用による公共交通の利便性向上

【公共交通の基本方針】

基本方針１：　子どもから高齢者まで、誰もがわかりやすく使いやすい公共交通への改善

・持続可能なまちづくりを目指す中で、特に子どもや妊産婦、自動車を持たない子育て世帯、高齢者等の交通弱者が外出機会を減らすことのないように、わかりやすい交通環境を形成していきます。
・公共交通の認知度の低さは、利用者数が伸びない要因のひとつと考えられるため、幹線・支線の階層的な公共交通ネットワークを目指した公共交通システムの位置づけを明確にするとともに、利用者目線に立った情報提供のあり方の見直しを進めます。
・現時点で外出時の交通手段に困る人や、将来的な不安を抱えた高齢者、免許返納者等に対して、運行範囲や運行方向など日常的な市内の移動がしやすい内容に見直していきます。
・また、料金徴収のキャッシュレス化についても検討していきます。

基本方針２：　広域アクセスやまちづくりと連携した持続可能な公共交通ネットワークの構築

・市民意識を踏まえ、現在の公共交通システムを維持していくために、料金の見直しや現行の費用の範囲内でのサービス等の見直しを継続的に進めていきます。
・鉄道駅は公共交通システムの中で乗換拠点に位置付けられ、また、将来のまちづくりにおいても、都市核に位置付けられています。潜在的な需要や乗り継ぎも考慮しながら、駅への移動利便性の向上を目指します。
・また、今後新たに整備が予定されている公共施設へのアクセスについて、既存の公共交通システムを有効活用して確保していくとともに、各施策と連携して、市外も含めた交流人口の拡大を目指します。
・社会情勢の変化から、公共交通の担い手不足が問題となっているため、定年退職者等の人材活用の工夫などを考えていきます。

基本方針３：　新たな技術やサービスの活用による公共交通の利便性向上

・近年、AI、IoT、自動運転、MaaS など様々なモビリティサービスが新たに登場しており、公共交通の分野においても、長期にかけて取り組んでいくべき事項として検討を行っていきます。

2. 計画目標と具体施策（案）

基本理念：久しく喜び合う住みやすいまち　久喜　を支える公共交通システムの実現

基本方針	計画目標	施策の方向性
基本方針１ 子どもから高齢者まで、誰もがわかりやすく使いやすい公共交通への改善	・利用しやすい公共交通環境の整備	①乗り換え・乗り継ぎの利便性向上
		②主要な乗り換え場所における待合環境の快適化
	・公共交通システムのわかりやすさの向上	①利用者目線に立った情報提供
		②施設側の乗降場案内情報の整備
	・利用者満足度の向上	①公共交通における割引制度の見直し
		②公共交通利用促進キャンペーンの実施
		③デマンド交通に対する予約の取りにくさの改善
		④キャッシュレス化の導入促進
基本方針２ 広域アクセスやまちづくりと連携した持続可能な公共交通ネットワークの構築	・市公共交通の再編	①公共交通システムの運行内容の見直し
	・都市核や新たな公共施設へのアクセス向上	②公共交通の利用促進
		③駅や主要バス停の交通結節強化
	・担い手不足問題への対応	④定年退職者等の人材活用の工夫
基本方針３ 新たな技術やサービスの活用による公共交通の利便性向上	・事業者の効率化を図る新技術の導入促進	①MaaS の考え方を取り入れた公共交通サービスの検討
		②AIを活用した新たな公共交通システムの検討